

いい歯科いいんプロジェクト発 第13回 DNA特別講演会
「人生100年時代にふさわしい歯科のカタチ」

東京会場での受講 [お申込み方法]

[会場 + 基調講演オンデマンド配信 + 振り返り配信あり]
ヨシダ上野本社講演会場にてご受講ください。お申込みは下記ホームページから。

<https://bit.ly/3OMk4D0>

受講料 **10,000円** ※税込
※にんべん監修お弁当込
※クレジット決済となります

定員 **70名** ※新型コロナウイルス感染予防を考慮して、
通常定員100名のところ70名に制限させて
いただいております。定員になり次第、
締め切らせていただきます。

お申込み
ページは
こちら➡



YOSHIDA

会場 〒110-8507 東京都台東区上野7-6-9 上野本社ビル3F
お問合せ 第13回 DNA特別講演会事務局 Mail: g-plus@yoshida-dental.co.jp
HP <http://www.yoshida-dental.co.jp>

！ 新型コロナウイルス感染予防を考慮して、定員を制限しての開催となります。
講演会当日は、マスク着用・密を避けるための適切な行動等のご協力をお願いします。

LIVE配信での受講 [お申込み方法]

歯科医師
その他
有料の方 [LIVE配信 + 基調講演オンデマンド配信 + 振り返り配信あり]
★事前視聴可能な基調講演付き(配信期間:7.7(木)~8.7(日))
ご自宅で、診療室で、講演会をネット受講できます。

<https://bit.ly/30qZZCb>

受講料 **3,000円** (税込)

お申込み
ページは
こちら➡



学生限定 [LIVE配信 + 振り返り配信あり]

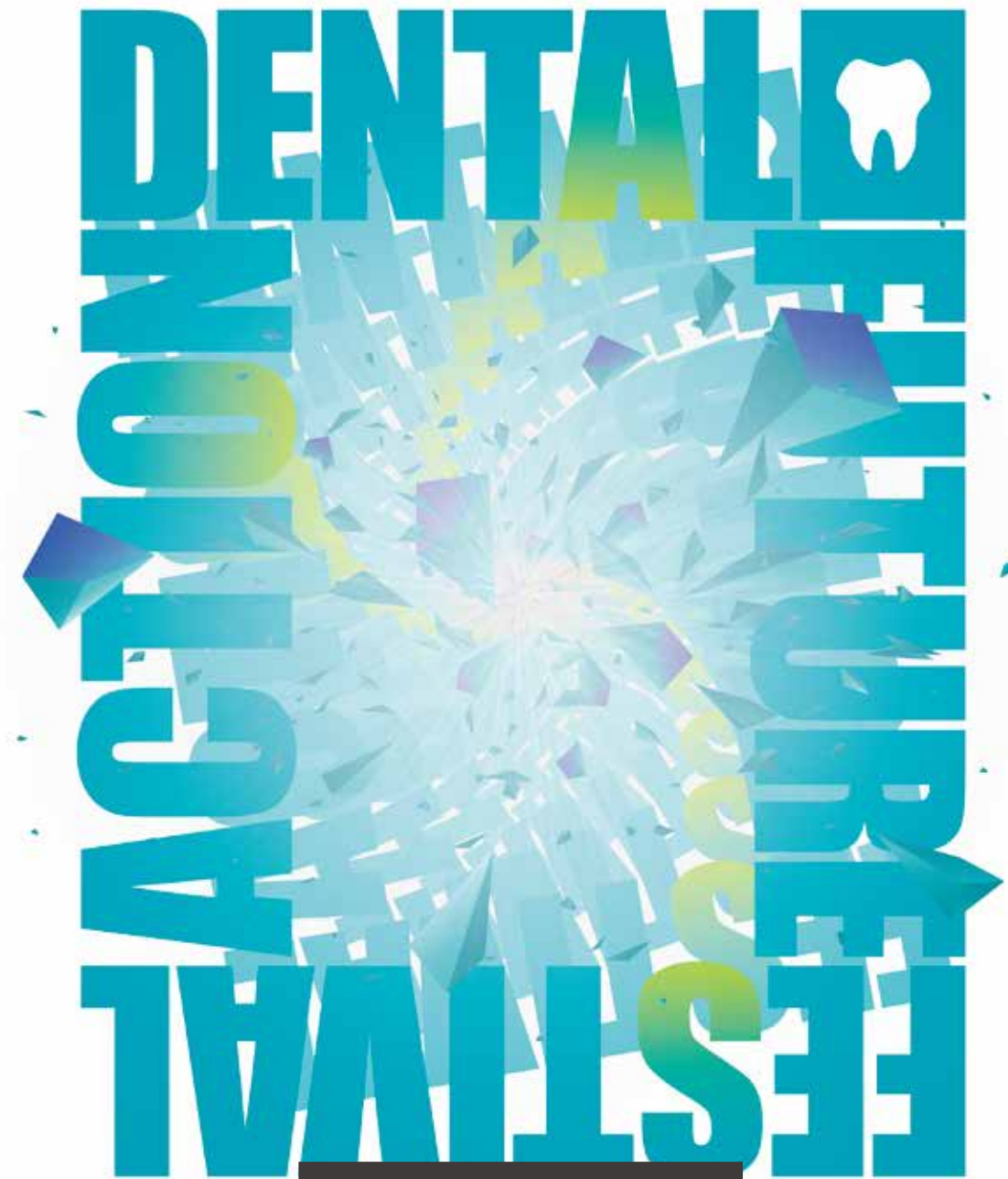
<https://bit.ly/30QZq4i>

受講料 **無料**

お申込み
ページは
こちら➡



いい歯科いいん
プロジェクト



第13回 DNA特別講演会

DNA特別講演会(Dental Next Action)は2015年にスタートし、
「歯科医療の価値を高める活動」として、これまで予防医療の推進、医科歯科連携、異業種連携等、
明日の歯科医療の発展のための情報発信に努めてきた講演会です。

～ 人生100年時代にふさわしい歯科のカタチ ～

2022年8月7日(日) 10:00～15:20 [定員 70名] 株式会社ヨシダ 東京上野本社ビル3F
講演会場 受講料 **10,000円** (お弁当・税込)
LIVE配信 受講料 **3,000円** (税込)

--- プログラムの詳細は中面をご覧ください ---

有料申し込み特典 小林隆太郎学長による、事前視聴可能なオンライン基調講演へご招待します。
現在も大学に在籍されておられる一方で、新規医療技術の保険収載に深く関わりがある歯科医療協議会座長を務められています。

今回のセミナーへお申し込み(有料)いただいた方に限り、オンライン基調講演へ
ご招待させていただきます。送付させていただきましたアドレスより、ご覧ください。

『いい歯科いいん』を共に創るために歯科界の展望
～逆転の発想 歯科界2040年への挑戦～

[基調講演配信期間] 7.7(木) 00:00 ~ 8.7(日) 24:00



小林
隆太郎
学長
Ryutaro
Kobayashi

- 日本歯科大学東京短期大学 学長
- 日本歯科大学付属麻酔科口腔外科 教授
- 日本歯科医学会連合専務理事
- 日本歯科医学会連合新型コロナウイルス感染症対策チーム長
- 昭和59年3月 日本歯科大学歯学部 卒業
- 平成元年3月 日本歯科大学大学院歯学研究所 博士課程修了
- 平成15年4月 日本歯科大学歯学部付属高野院口腔外科 助教授
- 平成22年4月 日本歯科大学歯学部付属高野院医療管理室 室長併任
- 平成22年4月 日本歯科大学口腔外科 教授
- 平成30年8月 学校法人日本歯科大学 理事
- 令和3年4月 日本歯科大学東京短期大学 学長

“いい歯科いいんプロジェクト” 第13回 DNA特別講演会

人生100年時代にふさわしい歯科のカタチ

DNA特別講演会 (Dental Next Action) は2015年にスタートし、

「歯科医療の価値を高める活動」として、これまで予防医療の推進、医科歯科連携、異業種連携等、明日の歯科医療の発展のための情報発信に努めてきました。

今回、3年ぶりにヨシダ本社での会場講演とウェブ配信のハイブリッドで第13回目を開催することといたしました。

さて、ウィズコロナ時代、私たちの生活は一変しました。

そのような中、DNA活動をさらに推進すべく、2040年 歯科界が目指す未来像を基に、

弊社では機器の開発やサービスの提供にとどまらない「いい歯科いいんを共に創るために」をスローガンに、

歯科医療従事者の皆さまと共に地域医療体制創りにさらなる貢献をしていきたいと考えております。

今回「～人生100年時代にふさわしい歯科のカタチ～」をテーマとし、これからの歯科医院、歯科医療を考える場にしたいと思い、基調講演として小林隆太郎先生(日本歯科学会総務理事/日本歯科大学短期大学学長)をお招きしました。

2040年に向けた歯科界のロードマップについてお話をさせていただきます。

歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士の方はもとよりすべての歯科医療に携わる方に

価値ある歯科医療の未来を知っていただきたく7月7日(木)からの1カ月間の配信をさせていただくことにいたしました。

8月7日(日)は、6名の開業医の先生方にお話をさせていただく機会をつくりました。

ぜひ、この機会に明日の“いい歯科医療”を考える場の一助になればと考えております。是非、ご参加ください。

株式会社ヨシダ 代表取締役社長：山中 一剛

[8.7日] 第13回 DNA特別講演会スケジュール

[司会] 秋 編集事務所 代表取締役 秋元 秀俊

時間	演者	演題
10:00 ▶ 10:40	1 安藤 琢真 先生	All-on-4 が叶える新しい人生
10:50 ▶ 11:30	2 長尾 龍典 先生	『最期の最後まで笑顔でいられるために、僕たちにできることは…』 ～人生100年時代 これからのデジタル矯正に求められること～
11:40 ▶ 12:20	3 麻生 幸男 先生	人生100年時代の歯科の入り口
昼休憩		
13:00 ▶ 13:40	4 押村 憲昭 先生	人生100年時代の歯科医院の条件
13:50 ▶ 14:30	5 園田 俊一郎 先生	人生100年時代といわれる中、『健康寿命とは』?
14:40 ▶ 15:20	6 北道 敏行 先生	人生100年時代!! IOSを効果的に臨床に活かすには

1



安藤 琢真 先生

■医療法人社団新正会 理事長 ■日本口腔インプラント学会 専門医 ■Straumann社 Neodent implant インストラクター

超高齢社会の日本において総入れ歯人口は10%を超えている。総入れ歯はどれほど出来が良くても、ボーンアンカードの全顎的なインプラントに比較して30%程度の咀嚼能率しかないという論文データがある。Dr.Paulo Maloが提唱したAll-on-4 concept は世界中で大きく広がりを見せている。All-on-4はそのキャッチーな名称で多くの歯科医師に認知はされているが、誤解され、実際本当に成立しているAll-on-4 は数少ないというのが現状である。当院では先代が、日本の歯科医師第一陣として2004年にポルトガルより持ち帰ったこのconceptを20年近く実践、改良し熟成させ続けてきた。本当のAll-on-4 conceptは超高齢社会において患者の人生を一変させ、QOLを著しく向上させるものであることを、年間200以上の症例を通して体感している。患者歯科医師双方に大きなメリットを生み出す素晴らしい治療である事を、自身の経験を通して皆様と共有したい。

2



長尾 龍典 先生

■ながお歯科クリニック 院長 ■ICOI国際インプラント学会(認定医・指導医)
■JAID、ENの会 所属

デジタル化によって、より身近になったアライナー矯正。そして、患者さんの人生を大きく変える力を持つ歯科医療。人生100年時代だからこそ、『最期の最後まで笑顔でいられるためにできることを!』について、アライナー矯正をテーマにお伝えしたい。

3



麻生 幸男 先生

■医療法人社団ワンアンドオンリー 理事長 ■明海大学臨床講師 ■日本歯科大学臨床講師

人生の入り口に立つ子供達にとって、予防の可能性は最大でありこれからの一生に関わる適切な衛生習慣を自然に身につける機会に恵まれている。そのために定期的で容易な教育の提供が必要とされている。早期口腔管理は家庭と医療現場の緊密な連携(デンタルホーム)の概念を持ち込むことでさらに成功したものになるだろう。地域社会に根ざし、医療チームが最新の知識と技術を提供できる確立した医療モデルをご紹介します。

4



押村 憲昭 先生

■かすみ・おしむら歯科 院長 ■日本糖尿病学会 所属
■日本皮膚アレルギー学会 所属

人生100年時代に求められる歯科医院ってどんなかたちでしょうか? 真に社会に求められる地域包括ケア時代において輝ける歯科医院の作り方をお伝えいたします。医科と歯科そして地域をつなぐ医療体制の構築を是非ともに。

5



園田 俊一郎 先生

■鹿児島セントラル歯科 院長
■日本臨床歯周病学会 所属
■日本矯正歯科学会 所属

歯科として、お一人お一人の人生にどのように関わっていくことができるのか? 当院でおこなっている、高齢者への食支援の実例を踏まえながら来院、訪問歯科診療についてどのように仕組みづくりをしているのか?をお話しさせていただければと思います。

6



北道 敏行 先生

■きたみち歯科医院 院長 ■日本臨床歯科CAD/CAM学会 会長 ■日本臨床歯科CAD/CAM学会コースインストラクター

近年の医療技術の発展には目を見張るものがある。平均寿命は100歳を超えるとも言われる時代ですが、健康寿命に関してはどのような変化を遂げるのであろうか。健康寿命の本質的な延長において歯科は切っても切れない診療科目である。食事を口腔から摂取できることは身体本来の機能を維持するのに必要なだけでなく、友人や家族、親族と会話をしながら楽しい食事の時間を持つことは何よりも幸せなことである。CAD/CAMの進歩もめざましく、一部の歯科医師が使用していた10年前と比較して一般開業歯科医による施術数も急激に増加している。チェアサイドIOSの持つ本来の役割についてお話ししたい。